

同窓会初めての海外旅行

上海・蘇州・湖州・杭州の旅

中国に初代会長桑村さんを訪ねて

2004 年 11 月 9 日～14 日

その 1：＊前書き・旅行日程

＊旅行記・第 3 日目 今回の主目的

桑村さんを訪ねて、

湖州健民龍鳳有限公司を訪問

＊旅行記・第 1 日目 夕刻蘇州着 ホテルで夕食



千葉県市川市立第二中同窓会・有志

目 次

1.	はじめに、参加者と日程、訪問地・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2.	桑村さんの思い出：勤務先・湖州健民龍鳳食品有限公司の紹介など・・	6
	（旅行第3日の「湖州健民龍鳳食品訪問・桑村益夫さんを訪ねて」 の記事をここで掲載）	
3.	旅行記・・・・・・・・・・・・・・・・	11
4.1	第1日 2004年11月9日・・・・・・・・・・・・・・・・	11
	夕食：たまたま佐野純子さんのお誕生日!!! 皆で祝った	
4.2	第2日 2004年11月10日・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	早朝の路上太極拳、太湖の風景・・・・・・・・	13
	彫花楼(春在楼)・・・・・・・・	14
	東山市場・・・・・・・・	17
	啓園・・・・・・・・	18
	寒山寺・・・・・・・・	22
	留園・・・・・・・・	24
	蘇州運河船上遊覧・・・・・・・・	27
	夕食 得月楼菜館・・・・・・・・	30
	宿泊 蘇州樂卿飯店	
4.3	第3日 2004年11月11日・・・・・・・・・・・・・・・・	31
	午前 世界文化遺産・拙政園・・・・・・・・	31
	午前～午後 湖州健民龍鳳食品訪問:桑村益夫さんを訪ねて・	34
	（この記事は6ページ以下に掲載）	
	午後 ①毛筆博物館 ②飛英塔・・・・・・・・	37
	夕食 国際大酒店・・・・・・・・	40
	食後 カラオケ・・・・・・・・	41
	宿泊 湖州国際大酒店	
4.4	第4日 2004年11月12日・・・・・・・・・・・・・・・・	42
	午前 市街散策そして杭州へ・・・・・・・・	42
	午後 ①霊隠寺 ②中国茶葉博物館 ③西湖遊覧・・	44
	夕食 楼外楼・・・・・・・・	51
	宿泊 杭州望湖賓館	
4.5	第5日 2004年11月13日・・・・・・・・・・・・・・・・	52
	午前 白堤三作そして上海へ・・・・・・・・	52
	上海・東方名珠塔・・・・・・・・	53
	昼食 上海城大酒店・・・・・・・・	
	午後 ①外灘 ②豫園商城・・・・・・・・	55
	夕食 緑波廊酒楼・・・・・・・・	57
	食後 上海雜技団鑑賞・・・・・・・・	58
4.6	第6日 2004年11月14日	
	午前 豫園商城自由散策・・・・・・・・	59
	昼食 自由行動	
	空港へ	
	夕刻 上海空港発	
	成田空港着	
	解散・・・・・・・・	59

1. はじめに

2004年11月9日～14日の今回の同窓会の中国への旅、それは中国の地で会社社長として頑張っておられる同窓会初代会長桑村さんの慰問と、同窓会会員の懇親の旅でした。

桑村益夫さんが勤務していた会社が中国に新子会社を設立するに当たり、桑村さんが初代社長に抜擢され、赴任された。市川二中同窓会初代会長が中国の地で頑張っておられるということで、慰労しよう、そしてその機会を活用して、中国の地を巡り、中国を知る機会にしようという思いから、今回の企画となりました。

桑村さんは、65歳で一旦年金生活に入り、車の免許を取ったりしていた矢先に、ビーフン関連食品の専門メーカー、ケンミン食品（株）（本社神戸市）の要請で同社の中国での工場建設プロジェクトに嘱託として参画、工事完了後は総経理（社長）として勤務することになりました。

今回の企画では、添乗員の周麗芳さんには、旅行の組み立てから、現地への随行まで大変お世話になりました。

有難うございました。

現地ガイドの李征宇さんには、現地で丁寧な案内をしていただき、旅を楽しめるものにすることが出来ました。有難うございました。

2. 参加者と日程、訪問地

今回の参加者は右の表に掲載した方々です。

1期生で同窓会初代会長訪問という企画であったので、構成メンバーは1期生とその配偶者が多かった。

訪問先と日程は次葉、次々葉に掲載した。

同窓会旅行5泊6日：

桑村益夫さん表敬訪問と蘇州方面巡り

参加者名簿			
No.	氏 名	期	備 考
1	桑村 益夫	1	会員・現地参加
2	井料 京子	1	会員
3	天野 睦子	1	会員
4	岡田 愛	1	会員
5	岡田 矩頭		岡田氏夫
6	豊田 洋子	1	会員
7	豊田 裕		豊田氏夫
8	折笠 智子	1	会員
9	小林 郁子	1	会員
10	山本 洋之	1	会員
11	曾根 道子	1	会員
12	佐藤 記代		曾根氏友人
13	松田 恵子	5	会員
14	山田 尚美	5	会員
15	吉田 伊都子		山田氏姉
16	三村 武教	5	会員
17	井上 富美子	6	会員
18	小出 武男	8	会員
19	佐野 純子	13	会員
ガ イ ド			
*	周 麗芳		添乗員
*	李 征宇		現地ガイド

市川二中同窓会・中国旅行

「桑村さんを訪ねて」そして「蘇州・湖州・杭州・上海」を巡る（5泊6日）

期 間：2004年(平成16年) 11月9日（火）～11月14日（日）

日次	日 付	都市名	現地時刻	交通機関	観 光 案 内
1	11月9日	成田集合	12:30	航空機	第2ターミナル3F/Eカウンター前
	(火)	成田空港発	14:55	CA930	飛行時間：3時間25分
		浦東空港着	17:20	専用車	着後：蘇州へ
		蘇州着	20:00	(ガイド)	夕食：蘇州料理「金満楼酒家」
					食後：観前街自由散策
					宿泊【蘇州楽郷飯店】
2	11月10日	蘇州	8:30	専用車	ホテルから東山へ
	(水)	東山	9:30	(ガイド)	午前：東山へ
					彫刻大楼：様々な物語、縁起物を木、鉄、石に彫刻
					東山市場：地元の自由市場
					啓 園：太湖を借景とした古典庭園
					昼食：地元料理「東山賓館」 昼食後蘇州へ
		蘇州	14:00		午後：寒山寺：
					世界文化遺産「留園」：（拙政園、網獅園、環秀山荘）
					運河船上遊覧：古い運河と新しくした運河
					蘇州の名産品シルク工場へ
			18:30		夕食：蘇州名物料理（得月楼菜館）
					食後：足裏マッサージ、足浴
					観前街自由散策
					宿泊【蘇州楽郷飯店】
3	11月11日				本日朝より：山本さん合流
	(木)				本日午後より：桑村さん合流
		蘇州	8:00	専用車	午前：世界文化遺産「拙政園」（世界文化遺産）
				(ガイド)	湖州へ（約2時間）
					訪問：湖州健民龍鳳食品有限公司（桑村益夫氏出向）
					昼食：同社製品の米粉他「社員食堂」
					午後：工場見学
					毛筆博物館
					飛英塔
					夕食：淡水魚料理+上海蟹（雄、雌）「国際大酒家」
					食後：カラオケ「国際大酒家」
					宿泊【蘇州楽郷飯店】

日次	日 付	都市名	現地時刻	交通機関	観 光 案 内
4	11月12日	湖州発	9:00	専用車	早朝：自由散策
	(金)	杭州着		(ガイド)	午後：杭州へ（約3時間）
			12:00		昼食：杭州地元料理「杭州百合花飯店」
					午後：霊隠寺
					中国茶葉博物館
					西湖遊覧
					夕食：杭州名物料理「外樓外」
					食後：足浴「杭州望湖賓館」
					宿泊【杭州望湖賓館】
5	11月13日				本日朝より 桑村さん離団
	(土)				
		杭州発		専用車	早朝：西湖の白堤を自由散策
		上海着		(ガイド)	午前：杭州より上海へ（約3時間）
					上海のシンボル・「東方明珠塔」
					昼食：上海料理「上海城大酒家」
					午後：上海のシンボル「東方明珠塔」
					旧租界時代のバンド（外灘）、中国茶売店
					豫園商城
					夕食：飲茶料理「緑波廊」
					食後：上海雑技鑑賞
					南京東・西路自由散策（ショッピング）
					宿泊【上海金門大酒店】
6	11月14日				山本さんは帰国せず滞在
	(日)				
					午前：豫園商城自由散策（ショッピング）
					南京東・西路自由散策（ショッピング）
					行人天堂（南京東路）
					昼食：各人随意：小レストラン「避風塘」（南京西路）
		ホテル発	13:00	専用車	空港へ
		上海発	16:25	CA919	
		(浦東)			
		成田着	20:00		通関後解散

5泊6日の桑村さん訪問、そして中国旅行、有意義で楽しい旅でした。



2004年11月9日成田空港を飛びたち、中国・上海市の浦東国際空港に到着、現地ガイドが用意した専用車（バス）に乗車、桑村さん訪問と中国の旅が始まった。日程と訪問地はスケジュール表を見るとわかるが、上海→蘇州→東山→蘇州→湖州→杭州→上海の順に訪問した。

3. 桑村益夫さんの思い出

湖州健民龍鳳食品有限公司の紹介などなど

今回の中国旅行の第一の目的は「同窓会初代会長の桑村益夫さんが、初代社長として出向された『中国に新規設立された会社：湖州健民龍鳳食品有限公司』の簡単な紹介をするとともに、桑村さんへの手記を合わせて紹介します。

3.1 湖州健民龍鳳食品有限公司の概要

会社の概要について桑村さんに紹介していただきました。

会社名称：湖州健民龍鳳食品有限公司（KenminFoods（HuZhou）Co.,LTD）

日中合弁企業

所在地：中国浙江省**湖州市**経済技術開発区創業大道

資本金：320 万米ドル

（ケンミン食品(株) 82%、天津国福龍鳳食品有限公司 18%）

董事長：高村一成(ケンミン食品(株)代表取締役)

総経理(社長)：桑村益夫(ケンミン食品(株)顧問)

資本金：320 万米ドル

設立年月日：2001 年 12 月 26 日

事業内容：冷凍食品、米加工食品、茶等の製造・加工・販売

概 要

① 工場の規模 総敷地面積 37,597 m² 建物の面積 6,666 m²

事務所・宿舍等 1,240 m² 電機室・排水処理設備等 2,000 m²

② 主要な設備 冷凍調理ビーフン、中華点心及び各種冷凍食品の一貫生産ライン 原材料保管冷蔵・冷凍庫、製造保管冷蔵室

③ 現状の生産能力 冷凍ビーフン生産ライン 日産 5～10 トン

中華点心類生産ライン 日産 2～5 トン

下記の写真は湖州健民龍鳳食品有限公司工場棟等の外観です。



先ず、桑村社長から会社の事業内容等についてご説明があり、その後、食堂で製品である冷凍食品の「米粉(ビーフン)」などを調理した食事をご馳走になった。大変美味しかった。食事風景を紹介します。

会社紹介をする桑村社長



3.2 桑村益夫さん感想文

市川二中同窓会有志の中国江南の旅をお迎えしての思い出

桑村 益夫

2004 年 11 月、市川二中同窓会第三代会長三村武教さんが自ら主催された、私のサラリーマン生活最後の勤務地、中国浙江省湖州市への慰問を含む旅行記を、取りまとめて下さったので、お礼を兼ねて思い出話などを書かせて頂きます。

私は昭和 33 年に、東京外国語大学中国語科を卒業、三井系の商社に入社し、香港、北京、シンガポール等に勤務し、62 歳でチョコレート加工会社に転職後、65 歳で一旦年金生活に入り、車の免許を取ったりしていた矢先に、ビーフン関連食品の専門メーカー、ケンミン食品（株）（本社神戸市）の要請で同社の中国での工場建設プロジェクトに嘱託として参画することになりました。

ビーフン（中国語では米粉）をご存じない方が意外に多いので説明しますが、米のみを原料とし、加工した春雨によく似た食品です。ケンミン食品(株)の創業者である台湾系の謝健民が、戦後間もなく日本で本格的に製造、販売したものです。

現在、同社はビーフンの日本におけるトップメーカーですが、数十年前には日本にビーフンメーカーはなく、同社のタイ工場から輸入し、豚肉、野菜等を加えて炒め、味付けしたものを冷凍し、「ケンミンの調理ビーフン」として全国的に販売しています。

同社はこの冷凍調理ビーフンを中国で生産しようと考え、私が工場建設用地の選定から始まる計画の立案に従事することになり、2000 年春から、嘱託として在宅での勤務が始まりました。

私は元来文系の人間で、中国には二度、計 5 年勤務したので中国のことはいささか承知していますが、冷凍食品工場の建設には全く門外漢です。先に急逝された同期生の増田幸雄さんが現役時代に大手建設会社、前田建設に居られたので、彼の紹介で同社に建設コンサルタントをお願いしましたが、条件が折り合わず、最終的には日本で某大手建設会社に勤務した経験のある、上海人の M さんの助力を仰ぐことになりました。

私が工場立地などを検討しているうちに、ケンミン本社では、創業者、謝健民の出身地台湾の高雄市の冷凍食品会社で、中国が経済解放政策に移行すると同時に中国に進出し、当時既に中国でも有名ブランドになっていた上海の龍鳳集団と合併会社を設立する事に決まりました。

そして、一瀉千里で、浙江省杭州市での工場建設計画がスタートし、合併会社「湖州健民龍鳳食品有限公司」を設立、私桑村が総経理（社長）に任命されました。合併契約、湖州市政府との工場建設用地借用契約、工場建設会社との建設契約、等々、商社出身で主として食品やその原料の輸入業務に従事していた私にとり、いずれも初めて

の仕事に取り組みられました。

このプロジェクトには約4年間従事し、最初の二年間は月に二度程度現地に出張して、湖州市政府との折衝、建設現場の視察を行い、工場が完成し生産を開始した後半の2年間は現地に常駐することになり、赴任した時は運悪く SARS が蔓延していた時でした。

仕事の上で、特に印象に残っているのは、湖州市からあてがわれた工業団地の一角、約4万平米は一面、田んぼで長靴を履いての視察。埋め立てが始まると、契約上は直径30センチ以上の岩石は無いはずが2メートル以上の岩石がごろごろ。

工場前の広場でのセメント工事中に、鉄筋もなしでモルタル塗りをしている現場があったり、建設に関しては門外漢の私には笑うに笑えない苦労がありました。

やっと生産が開始した時点で、三村さんから私の慰問を兼ねて、同窓会有志による江南地区への旅行の提案が寄せられ、びっくりすると同時に、有難さに目頭が熱くなりました。三村さん持ち前の素晴らしい行動力により旅行が実現しましたが、私は仕事柄現場を離れられないので、旅行の三日目の昼頃、工場で皆さんをお迎えし、6,666平米の冷凍食品工場を見学して頂いた後、製品の「調理ビーフン」等を昼食を兼ねて試食して頂きました。

食堂の壁には、赤地に金ならぬ黄色で。「熱烈歓迎市川二中同窓会旅行團」と書かれた横断幕が張られました。(同窓会報第25号に掲載)

昼食後は世界でおそらく一か所しかないと思われる「毛筆博物館」や、元の時代からある仏塔「飛英塔」等をご案内し、夜は私の定宿の国際大酒家で上海蟹料理等を賞味し、食後はカラオケを楽しみました。

単身赴任で、連日不慣れな仕事に取り組んでいた私は、皆さんとの出会いに心底癒され、感謝の気持ちで胸が熱くなりました。

翌日は、一行のバスに乗せて頂き、杭州へ同行し翌日宿舎で一行をお見送りし、一人寂しく湖州に戻りました。

その後は、皆さんとの短いながらも楽しかった思い出を胸に仕事に励み、一行が帰国された翌月、12月5日の満70歳を迎える数日前に、総経理を辞任し、帰国しました。

二中同窓生の中で、私の様に海外の任地にまで大勢で慰問に来ていただいた果報者はいないでしょうし、類似の話を聞いたこともありません。

誠に遅まきながら、企画者の三村さん、始め一行の方々に心より厚く御礼申し上げます。

(写真集発行に当たり 2022.6.29 記)

3.3 桑村さんが在住された湖州についての桑村さんの紹介文

《南太湖の真珠—湖州》 (湖州についての桑村さんの紹介文)

湖州は浙江省の北部に位置し、上海の西隣、南は杭州に接し、北は太湖を臨む江南地域の要です。徳清、長興、安吉の三県と呉興、南潯の両区があり、総面積は 5,817 平方キロ、人口 256 万人で、東部は水郷地帯、西部は丘陵山岳地帯となっており、「五山一水四分田」と称されています。

湖州は長江三角地帯の重要な対外開放都市で、国務院により上海浦東を始めとする 15 の優先的開発地域の一つに指定されています。1980 年代に経済改革、対外開放政策が採られて以来、上海と共に急速な発展を遂げています。

湖州は古くから、「生糸の里、魚米の郷、文化の国」と讃えられ、2 千 3 百年の歴史を持ち、世界的な生糸文明発祥の地の一つで、「文房四宝」として有名な「湖筆」の故郷でもあります。山と水に恵まれた風光明媚な所で、「陸羽」が「茶経」を書いた土地でもあり、著名な画家等多くの文化人を輩出しています。

湖州市の経済は工業の発展を重視し、絹織物、建材の両伝統産業を基礎に、近代的紡績、新型建材、ファインケミカル、医薬の四大重点産業を発展させ、その内ファインケミカルは全国 44 箇所の重点生産基地の一つとなっています。

穀物、油糧作物、養蚕、淡水魚、孟宗竹の産地として全国的に知られ、穀物・油糧作物 78 万トン、小麦粉 11 万トン、加工食品 15 万トンを産出し、2003 年の生産額は 29 億元 (406 億円) に達し、孟宗竹は全国に 1 割を産出しています。

気候は亜熱帯性で、四季の別がはっきりと感じられます。

湖州は文化的水準も比較的高く、環境、治安も良好で、「国家衛生都市」、「中国優秀観光都市」等に指定されています。

交通面では上海との高速道路の完成が遅れており、2006 年開通の予定ですが、杭州—蘇州、杭州—上海、杭州—南京（一部未開通）等の高速道路を利用し周辺各都市に移動する事ができます。

湖州市は今、「太湖の時代」に向けて、全市を挙げて都市空間を整備し、経済基盤の強化し、勢いのある文化的都市として、太湖周辺の近代的都市に成長しようとしています。

(五洲伝播出版社の「湖州」を一部抄訳及び補足。2004 年 11 月)

4. 旅行記

2004年11月9日、14時55分成田発の飛行機に搭乗、中国の浦東空港に着陸後、バスで蘇州に向かい、5泊6日の旅が始まりました。

4.1 第1日 2004年11月9日

夕食：「金満楼酒家」で蘇州料理を満喫

そして、偶然、**佐野純子さん（中央の美人）の誕生日**、皆でお祝いしました。

空港着は夕方5時半ごろ、空港から専用車（貸し切りのバス）に乗車し、まずは夕食から始まりました。

そして夕食会場のレストラン「金満楼酒家」へ、最初の蘇州料理を満喫しました。



そして、**添乗員の周麗芳さんが佐野純子さんの誕生日を知っていました。**

添乗員の周麗芳さんの計らいで用意されたケーキでお誕生日をお祝いしました。

佐野さん、おめでとうございます。!!!



皆さんお酒はあまり召し上がりませんでした。夕食時に注文した飲料は

内訳	烏龍茶	3 瓶×15 元＝	45 元	
	青島ビール	8 瓶×20 元＝	160 元	
	黄酒	1 瓶×60 元＝	60 元	合計 265 元（約 5300 円）

女性が多いとお酒は安く上がりますね。

食事中に勝手に入ってきた楽器片手の女性二人、流しのお姉さんたち、1 曲 30 元(約 600 円)、3 曲でお引き取り願いました。

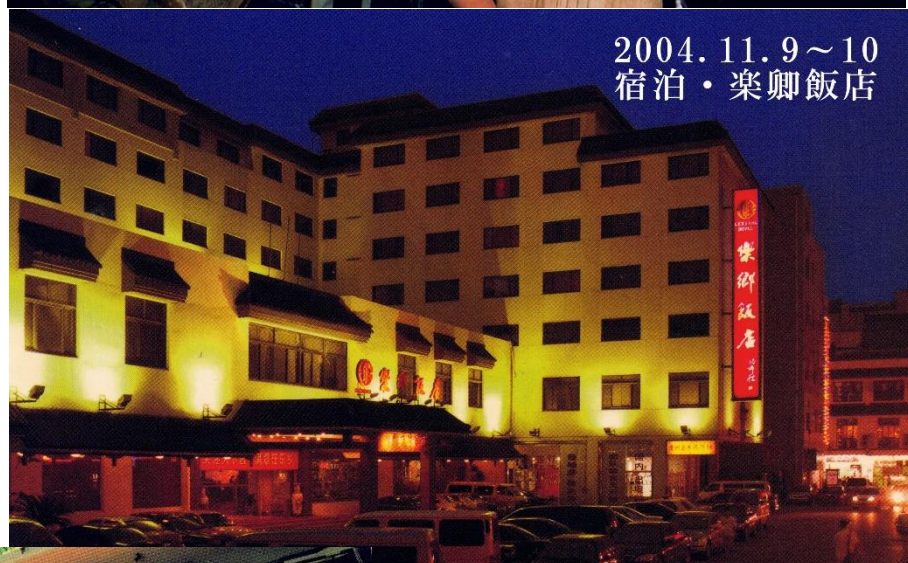
歌が上手だったか否か残念ながら覚えていません。(この文章を書いている現在は 2022 年、この旅行が 2004 年、もう 18 年も昔のことになりました。

宿泊したのは楽卿飯店、10 月 9 日、10 日の、2 泊しました。

写真はパンフレットの画像（外観とフロント）です。



2004.11.9 金満楼酒家
勝手に入ってきた
流しの三人



2004. 11. 9～10
宿泊・楽卿飯店



2004. 11. 9～10
2泊した楽卿飯店

こんな感じのホテルに泊まりました。

こうやってパンフレットを見るとまああのホテルでしたね。